

第3回

琉大眼科診療連携セミナー

先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、昨年引き続き第3回 琉大眼科診療連携セミナーを

下記の要領にて開催させて頂く運びとなりました。

日常診療のお役に立てるものと考えておりますので、多数のご参加をお待ちしております。

日時 令和3年 **3月12日** **金** 19:00~20:30

場所 ダブルツリーbyヒルトン
那覇首里城
「美福の間」

会場より
WEB配信

18:45

『アイラミド製品紹介』 千寿製薬株式会社

『Opening Remarks』 知念 靖 先生 (沖縄県眼科医会 会長)

第1部 基調講演

座長: 山内 遵秀 先生 (琉球大学 眼科 医局長)

19:00

『琉大眼科の外来診療』

19:15

仲嶺 盛 先生 (琉球大学 眼科 外来副医長)

19:15

『琉大眼科の入院・手術治療』

19:30

今永 直也 先生 (琉球大学 眼科 病棟医長)

19:30

『琉大眼科医局の現況』

19:45

古泉 英貴 先生 (琉球大学 眼科 教授)

第2部 特別講演

座長: 古泉 英貴 先生 (琉球大学 眼科 教授)

19:45

『加齢に伴って診られる斜視』

20:30

木村 亜紀子 先生 (兵庫医科大学眼科学教室 准教授)

共催: 沖縄県眼科医会
千寿製薬株式会社

特別講演

「加齢に伴って診られる斜視」



木村 亜紀子 先生（兵庫医科大学 眼科学教室 准教授）

沖縄県は健康寿命も平均寿命も長い「長寿の県」と思い込んでいましたが、沖縄県のホームページによりますと、そうでもないようです。眼位異常による複視や頭位異常はQuality of visionを低下させ、糖尿や肝機能障害、視力低下などと同等に健康寿命に影響を与える因子であると個人的には考えています。斜視の中には、緊急性のある斜視と経過観察で良い斜視があります。加齢性斜視（sagging eye syndrome）であれば緊急性はありません。また、甲状腺眼症や重症筋無力症は比較的若い世代に多い疾患でしたが、両者とも高齢発症が増加傾向にあります。若年者では眼球突出や上眼瞼症状が主である甲状腺眼症は、高齢者では複視で発症します。また、眼筋型筋無力症の約半数は抗アセチルコリン受容体抗体が陰性のため、余程、疑っていなければ見逃してしまうことがあります。複視には手術治療だけでなく、フレネル膜プリズムを含むプリズム療法、ボツリヌス療法などの治療があります。加齢に伴って診られる斜視の診断と治療について、自験例を用いて解説いたします。

事前参加登録の御案内

視聴には**事前登録**が必要です。本会は**沖縄県内または琉球大学医局員**に限定させていただいております。参加ご希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。

※本名でのご登録をお願い申し上げます。

- ① 御芳名・御施設名・E-mailアドレスを入力いただくと視聴登録完了致します。
- ② 登録完了後、「事前登録完了メール」が届きます。
- ③ 当日は「事前登録完了メール」に記載の「[こちらから参加できます](#)」をクリックしてご参加ください。

ご不明な点等ございましたら、担当MRもしくは吉住までご連絡
お願い申し上げます。

TEL： 080-6232-7651

E-mail： y-yoshizumi@senju.co.jp



沖縄県
眼科医会

